

ご 注 意

地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

栃木県土木部建築課

ボーリング柱状図

調査名 県立宇都宮南高等学校建設に伴う 孔番 No. №1 地盤高 m

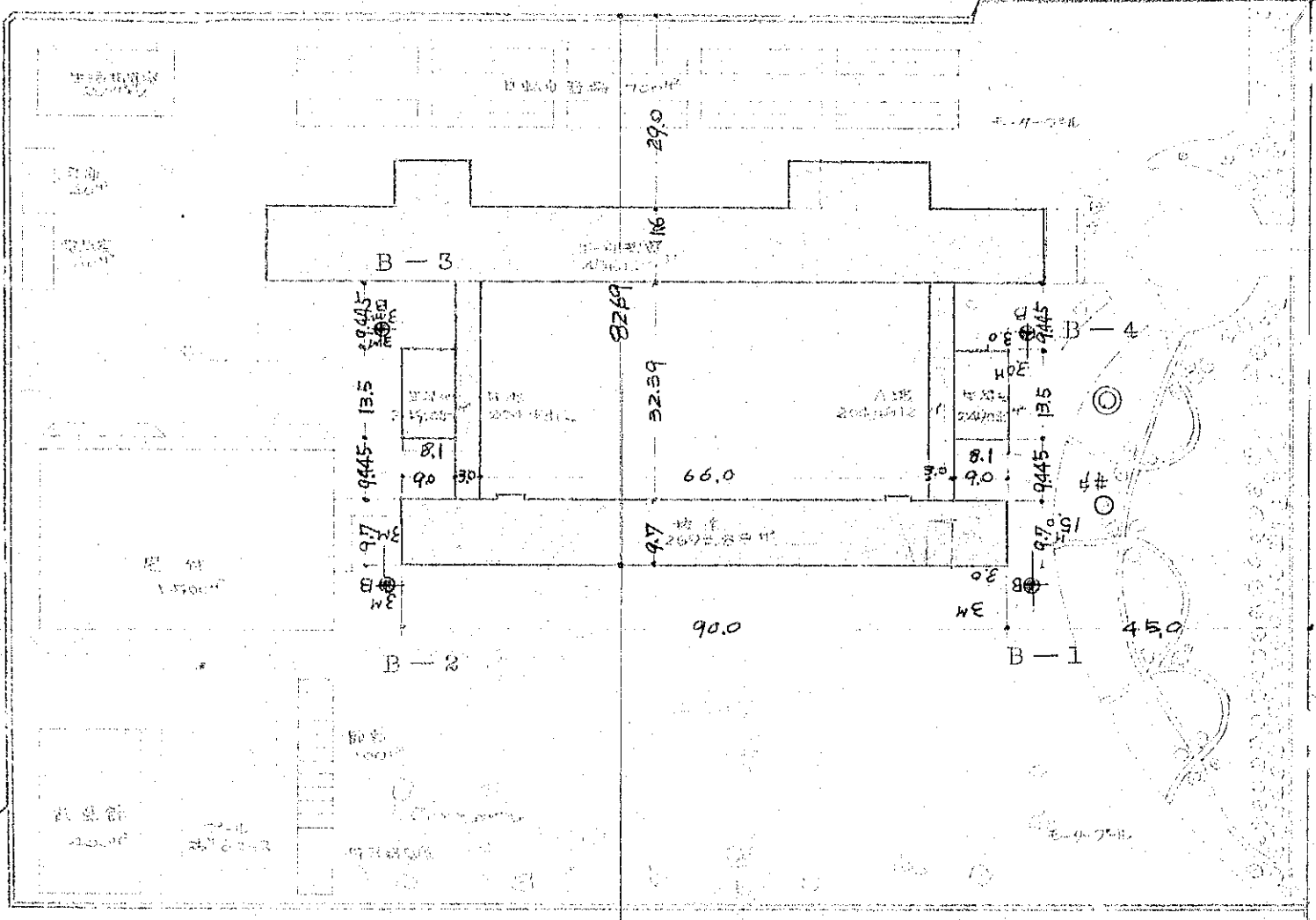
調査場所 地質調査 (基準面)

地形 摘要

調査期間 昭和45年11月21日 ~ 11月23日

地下(孔内)水位 1.80 m 調査担当者

標地下水 高位 (m)	深 度 (m)	層 厚 (m)	土 質 記 号	土 質	土 性		備 考	(註) 試 料		原 位 置 試 験 深 度 (m)	標 準 貫 入 試 験						
					色 調	相 對 密 度		番 号	記 号		採 取 深 度 (m)	打 撃 回 数					
														0	10	20	30
0				盛 土													
0.250	0.20			表 土				1	1	1.15 1.05	1						
1.50	0.70			ローム	茶褐			2	2	7.20 3.41	50 20						
2.10	0.60				暗 茶 灰		礫径50~60% 程度の混入多 い。 含水多い。	3	3	29.21 3.59	50 14						
					茶 灰 色		最大礫径100 %内外。	4	4	27.37 4.15	50 17						
								5	5	15.20 5.15	50 24						
								6	6	23.27 6.15	50 20						
								7	7	37.13 7.15	50 13						
								8	8	21.24 8.15	50 21						
								9	9	31.19 9.15	50 15						
				砂 礫				10	10	41.91 10.15	50 11						



興市甲縣留廟高等學校
建築設計圖 配畫圖

1/1000